



**2007 全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦  
第39回 MFJグランプリ  
スーパーバイクレース in 鈴鹿 開催要項**

大会事務局

参加者各位

2007/6/15

1) **大会名称** 2007 全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦  
第39回 MFJグランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿

2) **参加申込期間/主催者/参加申込先/開催日**

参加申込期間: 2007年9月11日(火)~9月20日(木)

**※但し、第6戦 岡山国際大会にてポイントを獲得したエントラント(ライダー)は  
10月3日(水)午前中必着とします。**

主催者 : (財)日本モーターサイクルスポーツ協会/(株)モビリティランド 鈴鹿サーキット

参加申込先 : (株)モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992

TEL 059-378-3405 FAX 059-378-3625

開催日

開催クラス	10/19(金)	10/20(土)	10/21(日)
GP-MONO	A.R.T 合同走行	公式予選(通常方式) /決勝レース(10周)	
GP125		公式予選 (各クラス通常方式)	
GP250			
ST600			
JSB1000		公式予選 1回目…通常方式 2回目…ノックアウト方式 (各セッション 15分予定)	2ヒートレース ヒート1…15周 (11:00 スタート予定) ヒート2…15周 (14:15 スタート予定)

3) **開催場所** 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース フルコース(5.821km)

4) **参加資格**

①当該年度有効な MFJ ロードレース国際ライセンスを所持している者。

②①を満たし、エントリー締切期限である9/20 現在で、当該クラスのランキングポイントを取得している者。

③エントリー締切り後の全日本選手権当該クラスにおいて、ポイントを取得した者。

※世界選手権・海外選手権出場者などの参加については、当該ライダーの実績をもとに主催者が参加の可否を決定する。

5) **参加申込方法/参加料**

エントリー用紙に必要事項を完全に記入の上、下記の参加料を添えて参加申込先へ提出して下さい。

開催クラス	参加料	MFJ スポーツ 傷害基金掛金	合計
GP-MONO	16,000 円	3,500 円	19,500 円
GP125			
GP250			
ST600			
JSB1000	31,500 円		35,000 円





## 全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦 第39回MFJグランプリ スーパーバイクレース in 鈴鹿 JSB1000 クラス 大会特別規則付則

### 【JSB1000 クラスノックアウト方式公式予選】

本大会における JSB1000 クラスの公式予選は下記の通りとする。

～1) 1 回目の公式予選は 40 分間(※予選最多出走台数を超える参加があった場合は、別途公式通知にて公示する。)のタイムアタック形式とし、記録した最高ラップタイム順に順位が与えられる。

更に、記録したタイムは予選基準タイムクリア条件として取り扱われ、基準ラップタイムをクリアできなかった者は 2 回目の公式予選に出場できない。(上位 3 台の平均の 107%)

～2) 決勝レースのグリッドは公式予選 2 回目のノックアウト方式によって決定される。また、そのグリッドはレース 1、レース 2 ともに適用される。

～3) 2 回目の公式予選は、次の手順で行われる。

①Q1: 1 回目の公式予選を通過した全ライダーの参加が許される。本セッション中に記録したタイムの 上位 24 台が Q2 への参加が許される。

Q2 に進出できなかった者は、Q1 のタイムにより決勝グリッド 25 台目以降が決定される。

何らかの理由により本セッションにてタイムが記録されなかった者は Q1 で記録された最下位タイムの者の後方グリッドに並ぶものとし、公式予選 1 回目で記録されたタイム順に決定される。

②インターバル: 全車ピットインが確認された後、次のセッションの開始 3 分前が提示される。

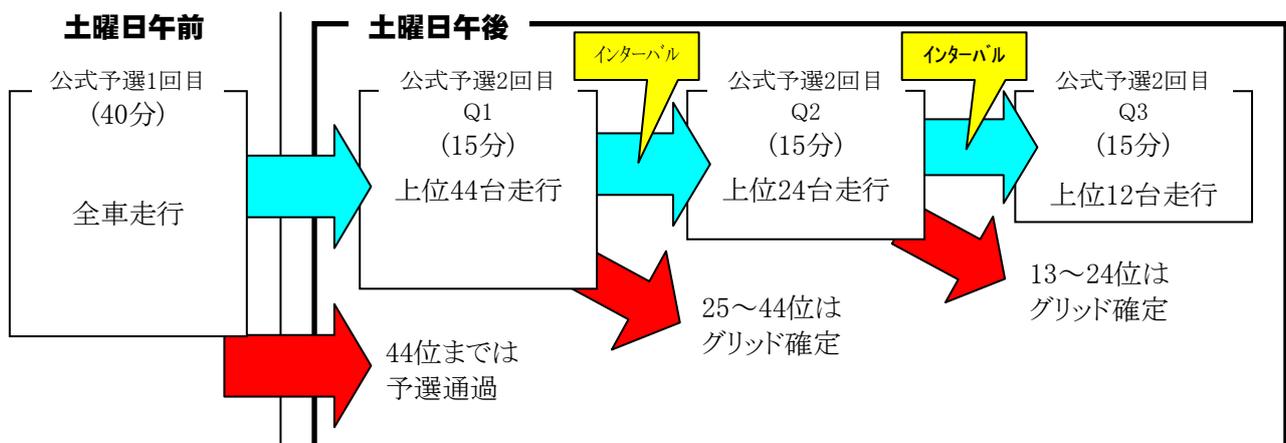
③Q2: Q1 にて選抜された 24 台の車両のみ参加が許される。本セッション中に記録されたタイムの 上位 12 台が Q3 への参加が許される。 Q3 に進出できなかった者は、Q2 のタイムにより決勝グリッド 13～24 位が決定される。

何らかの理由により本セッションにてタイムが記録されなかった者は Q2 で記録された最下位タイムの者の後方グリッドに並ぶものとし、Q1 で記録されたタイム順に決定される。

④インターバル: 全車ピットインが確認された後、次のセッションの開始 3 分前が提示される。

⑤Q3: Q2 で選抜された 12 台の車両のみ参加が許される。本セッション中に記録されたタイムにより決勝レース(レース 1、レース 2 共に)のグリッド 1～12 位が決定される。  
何らかの理由により本セッションにてタイムが記録されなかった者は、Q3 で記録された最下位タイムの者の後方グリッドに並ぶものとし、複数台あった場合 Q2 で記録されたタイム順に決定される。

### ノックアウト方式公式予選





- ～4) 各セッションの結果は、ラップタイムモニターに表示される。参加者は自身でその内容を確認し、表示された結果に従って次のセッションに出走すること。なお誤ってコースインしたライダーに対しては、黒旗を提示しピットインを命じる場合がある。
- ～5) 公式予選(各セッション)開始の2分前にボードが提示され、この時点より自己のピットを離れ、ピットロード上のファストピットレーンに進入することができる。
- ～6) 公式予選2回目の各セッションにおいても、タイヤはマーキングされたものを使用しなければならない。  
(ただし、ウェット宣言が出された場合はこの限りではない。)  
なお、公式予選2回目のQ3に進んだライダーには追加で1セットのタイヤの使用が認められる。  
このタイヤをQ3以外の走行で使用することは許されない。
- ～7) 公式予選時のチェッカーフラッグは、予め公式通知によって公示された予選終了時間から提示される。
- ～8) ウェイティング嘆願の提出期限は、2回目の公式予選終了後(公式予選暫定結果発表後)30分以内とする。
- ～9) 何らかの理由によりセッションの一部、もしくはその全てが行われなかった場合は、中止されたセッションの前のセッション、もしくは公式予選の結果に基づき予選順位が決定される。

#### 【JSB1000 クラス 2 ヒートレース】

本大会における JSB1000 クラスの公式予選は下記の通りとする。

- ～1) 第1レース、第2レースとも独立したレースとして行われる。  
第1レースにて完走できなかった場合でも第2レースに出場することができる。
- ～2) 2つのレースは同周回数(各レース15周)とする。
- ～3) 第1レース、第2レースともグリッドは公式予選(ノックアウト方式)によって決定されたグリッドとする。
- ～4) 2ヒートレースでのポイントは各ヒートに通常のポイントが与えられ、MFJ GP 規定のボーナスポイント(3点)も各ヒートに与えられる。
- ～5) 今大会では通常のドライタイヤ3セット使用の規定に加え、もう1セット使用することができる。

#### 【公式予選(ノックアウト方式)時のタイヤマーキングについて】

第2回公式予選(ノックアウト方式)にてQ3に進んだチームのタイヤマーキングは下記の通り執り行う。

- ～1) ピットレーン入り口のマーキングチェックエリアにてマーキングの有無を確認し、マーキング未実施の車両への対策としてその場でマーキングを行う。また合わせて各ピット前でもマーキングを実施する。
- ～2) Q3でマーキングされたタイヤは、Q3専用許可されたタイヤと判断し、他とは異なる色でマーキングを施す。  
(すなわち、当該セッション以降ではその色のマーキングタイヤを使用することはできない。)

以上